

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

このコーナーもついに10回目。昨年8月にスタートしてから、ちゃんと毎月更新できてるじゃありませんか。毎月こんなくらないことをよく書けるなと思われるかもしれませんが、くだらないことだからこそ書けるのです！



以上の前振りにもかかわらず、今回は防災に関係したことを書きます。え、へそ曲がりだって？ わははは、今ごろ気づいたか。(へそ曲がり検索したら、なぜか上のおっさんのイラストが出てきた…)

防災ネットワーク(自主防災組織連絡協議会)の構想を初めて考えた時、これが実現したらおそらく日本初、ひょっとすると世界でも初めてかもしれへんぞ、なあんて考えてました。前例のないことをやるのだ！という意気に燃えて準備を進めたのです。

組織の体制にしても規約にしても、何も参考にせず自分たちで「あーでもないこーでもない」とわいわいがやがやしもって作りました。大勢の意見を聞きながら、2年以上の期間をかけて練り上げたのです。

べつに初めてが偉いわけじゃないけど、コピーや真似じゃないものを作るのは、大変だけど面白い。できた時の「やったー！」って達成感も半端ない。とくに活動を避難所単位にしたところなんか「オレたちって、天才じゃね？」ってひそかに悦に入っちゃったりなんかして。

ところが！

先日、調べものをしようとして総務省消防庁のHPで「自主防災組織の作り方」を読んでいたら、書いてあるやん！ 自主防災組織連絡協議会が！ しかも避難所単位で活動すればよってことまで！ うわあ、あの有頂天は何だったんだあ！



ま、しょせん人間が考えることですからね。同じことを思いついたり実行する人は、世の中になんぼでもおるわけです。

筆者が小学生のころ、こんなことがありました。学校の理科の授業で、「月の重力は地球の6分の1。だから月面でジャンプしたら6倍の高さ飛べるんだぞ」先生のその話を聞いたとたん、筆者はピカッとひらめいた。「地球人が重力のはるかに小さい星へ行ったら、超人みたいな動きができるじゃないか！」当時はお話を作るのが大好きで、将来はそういう仕事につきたいと考えていたので、このアイデア(僕は天才だ！と思った)に大興奮したものです。

当然のことですが、そんな話はとっくに作られてます。「ターザン」の作者で有名なエドガー・ライス・バローズの書いたスペース・オペラもの（火星シリーズなど。近年「ジョン・カーター」というタイトルで実写映画化された）がそうだし、有名どころではスーパーマンが同じ設定の応用です。自分の素晴らしい思いつきに先例があると知って、少年時代の筆者はガックリ肩を落としたのでした……



中学時代の愛読書

バローズの「火星シリーズ」



映画化されたもの

イメージ壊したくなくて未見



おなじみスーパーマン

スッパマンじゃないよ！

他にも似たような経験は山ほど。オリジナルな発想をするのは、本当に難しいしできないことなんですね。それでも、難しいことに挑戦するのがロマンです。防災も、お固くするんじゃないくて、夢がなくちゃあ。てことで、防災ネットワークと食いしん防災コミュニティ部会は、これからもロマンを追い求めてやっていきます！

ところでご存知の方はご存知の通り、筆者は映画が大好きであります。昨年みた日本映画でいちばん面白かった「カメラを止めるな！」が、今月8日にTV放映されます。未見の人は見るべし！ 次回のこのコーナーにて、ネタバレこみで触れますから！



↑ロマンで検索したらこんなものが…？



TOPICS

☆こと防第二小ブロック会議開催

湖東地区防災ネットワーク（略称こと防）の第二小学校ブロック会議が、2月6日夜に湖東コミセンで開かれました。

湖二小を避難所とするこのブロックは、下一色町・すまいるタウン・勝堂町・北菩提寺町・西菩提寺町・南菩提寺町・横溝町の7つの自治会で構成されています。この日は所属する全自治会の防災推進員さんが集まりました。

ブロック代表の村田道広さん（北菩提寺町）のあいさつで始まり、各自治会から今年

度の防災面での活動状況や課題について、報告と意見交換がなされました。

備蓄品の拡充を計画的に進めているところは、購入した投光器や発電機などの資機材を祭りなどの行事で使い、住民にも貸し出すことで、ふだんから活用されていました。

一方で、実際の活動や備蓄品の購入がなかなか進まず、いざという時にどれだけ動けるか不安を抱えているところも多々ありました。

今後のブロック活動方針については、当地域に起こりうる重大災害を地震と想定し、地震への対応を優先課題とする案を、次年度に引き継ぐことになりました。具体的な活動内容としては、まず防災推進員が研修などで知識を得た上で、住民も含めた合同訓練などに進んでいくというプランです。



今回やっと
写真が撮れました！

☆こと防 支所ブロック会議も！

湖東中学など支所周辺の施設を避難所とするブロックの会議も、20日夜にコミセンで開かれました。

このブロックに所属するのは、南花沢町・北花沢町・横溝出屋敷・湖東ニュータウン・横溝ニュータウン・槌之宮・池庄町の7自治会。これまた全員出席で、ブロック代表の小杉光史さん（槌之宮）のあいさつとともに、会議は始まりました。

このブロックは3つの学区すべてから集まっているのが特徴で、古くからある在所から新興住宅地まで、バラエティに富んだ構成になっています。それゆえ意思疎通に手間がかかるかと思いきや……

会議は終始なごやかなムード。農家の多い自治会が「畑に野菜がなんぼでもあるから、食糧の備蓄は考えていない」と発言すると、ニュータウンが「うちは備蓄する倉庫もないので、いざとなったらその野菜を分けてもらいたい。かわりに、若い力を提供します」と返すといった具合。

最終的に、「熱心な取り組みをしているところに、ほかの自治会が見学に行くなどして交流し、ブロック内の連携を深める」を優先課題として引き継ぐことに。



これで5つのブロックのうち3つが次年度の活動方針案を決めました、同じ湖東地区内でも考え方に違いがあって、それぞれの特徴を生かした取り組みになっていきそうです。

今は会議ラッシュのシーズンなので、これからしばらく会議の報告が続きます。ロマンあふれること防の行方にご期待あれ！



今後の活動予定

- 3月 1日（金）湖東地区防災ネットワーク 第1小学校ブロック会議
- 8日（金）「カメラを止めるな！」放映（見るべし!）
- 13日（水）湖東地区防災ネットワーク ブロック代表者会議



勝手にQ&Aコーナー

「こんな質問があるかも」と勝手に想像して答えるコーナーです

Q：備蓄品ですが、本当に必要なんですか？ 大災害が起こったら、救援物資が届くんじゃないですか。

A：直下型地震などの激甚災害に見舞われた場合、被災地に救援が入るのは、24～72時間後になります。ですから2、3日間は、自力で乗り切る必要があるのです。

Q：くだらないことを書いている自覚はあるんですね？

A：ほっといてちょーだい。

楽しい質問、お待ちしております！

